法人の設立について

当 NPO 法人は、京都大学阿武山観測所がこれまで取り組んできた歴史的地震計および満点(地震観測)計画を活用した「地震サイエンスミュージアム」活動を、「オープンサイエンス(市民とともに歩むサイエンス)」運動として、さらに発展させたいと考え、2021 年に設立しました。

これまで任意団体として実践してきた活動や 事業を、関連団体とのより良い連携を構築しな がら、地震・防災科学における「オープンサイ エンス」運動や、その拠点としての観測所およ び周辺環境を保全する活動等をより精力的に推 進していきます。

代表 飯尾能久



設立の経緯

・2011 年 阿武山地震サイエンスミュージアム・ プロジェクトを 始動

以来、阿武山サポーター等の市民ボランティアを中心に、観測所をミュージアムとして一般公開する活動等に取り組み、年間約70回のイベントを開催し、来訪者約2,000名を数えるまでに進展。

• 2021年 1月29日 設立総会

同 3月22日 大阪府高槻市により設立認証

同 4月 1日 NPO 法人設立登記

法人番号: 120905006159

入会のご案内

正会員は、「阿武山地震・防災サイエンスミュージアム」 活動の意思決定に関わり、また活動に主体的に参画できます。

またこれらの活動をさまざまな形でサポートしていた だく準会員・賛助会員の制度もあります。

会員特典 (主なもの)

- ・当 NPO が実施する一般向けのセミナーや研修・イベント等に あたり、会員優先枠に申し込みいただけます。
- ・当 NPO が会員向けに限定して開催するセミナー・研修・イベント等に参加できます。
- ・当 NPO が発行し、有料販売する資料冊子等を進呈します。 またその他の特典も随時ご用意していきます。

詳しくは、会員規約と合わせ、ウェブサイトでご確認ください。

申し込み方法:

ウェブサイト https://www.npo-abuyama.org からお申し込みください。

会 費 (設立時点)

	個人一般	団体	学生
正会員 入会金	2,000円	20,000円	
年会費	3,000円	30,000円	
準会員 入会金	1,000円	10,000 円	無料
年会費	2,000円	20,000円	500円
賛助会員 年会費	1口 3,000円	1 口 30,000 円	

特定非営利活動法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

連絡先

〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944 京都大学 防災研究所 阿武山観測所 内

NPO 法人阿武山地震・防災サイエンスミュージアム 事務局

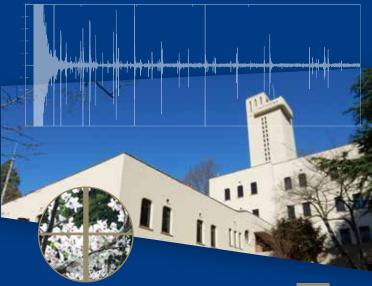
メール: contact@npo-abuyama.org





特定非営利活動法人

阿武山地震・防災サイエンスミュージアム





ABUYAMA
Seismological
MUSEUM

https://www.npo-abuyama.org

















阿武山観測所について

阿武山地震観測所は、京都大学の研究施設として 1930年(昭和5年)に設立され、以来90年の長き にわたって、日本の地震観測研究の最先端施設として、 日本そして世界の地震研究をリードしてきました。

2011 年(平成 23 年)以降は、地震研究の黎明期から現代に至るまで、数々の貴重な地震計を保有する利点を生かし、現役の観測施設であると同時に地震研究の歴史を一所で見わたすことができるユニークな地震サイエンスミュージアムと

正文 で // でんりたす このような貴重なデータを得る ができるユニークな地震 ための地震の常時観測が、90年 以上続けられています。

本震と余震の観測波形(10分間)

しての機能を付加し、いっそうの発展を遂 げています。

また、本観測所は、大阪府高槻市街地の 北方、阿武山山頂から南へのびる尾根の突 端部に位置し、建物上部からは、遠くは六 甲山、淡路島、大阪湾、生駒山まで、大阪 平野を一望する眺望を楽しむことができま す。建物は深い森に囲まれ、藤原鎌足が埋 葬されているとされる阿武山古墳とも接し ています。

さらに、昭和初期のモダンな雰囲気を湛えた建物は、2007年(平成19年)に「大阪府近代化遺産総合調査報告書」で「注目すべき近代化遺産」として掲載され、映画、TV ドラマのロケ地となるなど、歴史的建築物としても大きな注目を集めています。

NPO法人 阿武山地震・防災サイエンスミュージアム

サイエンスミュージアム 活動

阿武山観測所を市民に開かれた ミュージアムとして活用・一般公開し、 見学会やセミナー、ワークショップの 開催などを推進しています。また依頼 を受けての出張講座も行っています。



3つの主な活動

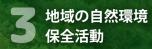


地震・防災サイエンスの 講習および研究支援活動

一般市民がサイエンスミュージアム活動を実施したり、地震の観測やデータ処理等の研究や学術の現場に参画するうえで、必要となる知識やスキルを身につける研修講座等を開催し人材を育成します。



あぶやまの活動の さらなる発展を推進し、 未来を描きます…



阿武山観測所が立地し、京都 大学が管理する広大な敷地にお ける自然環境・景観、歴史的建 造物など、文化的資源の保全を 支援します。



「オープンサイエンス」とは

研究者・専門家だけでなく広く市民を巻き込み、社会全体として科学を進めようとする活動を「オープンサイエンス」の運動 (共に、観測・観察・解読・解説する活動)と言い、これからの科学のあり方として注目されています。近年、日本でも、東日本大震災 を契機として、地震防災科学をめぐる社会と科学の乖離・摩擦、市民と科学者の間の距離・不信が大きな社会問題となる中、当NPO が推進する「オープンサイエンス」を基軸とする「サイエンスミュージアム活動」の重要性はますます高まりつつあります。